

藤川の里だより

愛知県厚生事業団 愛厚藤川の里(障害者支援施設)

〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入1-2

TEL 0564-48-6130 FAX 0564-48-8905

E-mail: fujikawa@rapid.ocn.ne.jp http://www8.ocn.ne.jp/~fujikawa/



新年度にあたり

所長 山岡 亨

解 風薫るこの4月、いよいよ季節の変わり目です。誠に勤務することになりました。山岡
と 申します。職員・転勤職員も新しい仲間となりました。人事異
動 等、新しい職員・転勤職員も新しい仲間となりました。人事異
で、桜の坂道に迎えられるので、2ヶ月が過ぎましたので、
ここの雰囲気、慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
ろ、私と言え、慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
行、少し見え、慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
な、それ、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
害、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
も、施、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
る、ま、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
え、年、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
皆、ち、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
共、に、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
は、喜、び、た、お世話になりました。慣れたので、2ヶ月が過ぎましたので、
一、同、こ、ろ、を、込、め、て、進、め、る、生、活、が、支、援、出、来、る、よ、う、ス、タ、フ
す。な、る、よ、う、に、思、っ、て、い、ま、す、の、で、援、が、よ、ろ、し、く、お、願、い、し、た、し、ま、

行事紹介 節分会

2月1日、2年ぶりの節分会が行われました。所長から節分のお話を聞き、年男・年女の紹介をした後、袴を着ていただきました。利用者は鬼にぶつける玉を両手に持ち、準備万端！（豆の代わりに玉入れの玉を使用）「あー！」の掛け声とともに赤鬼、青鬼が入ってきました。「福は内！、鬼は外！」と言いながらおもしろい玉を鬼にぶつけます。「まいった、まいった」と鬼は退散、利用者さんは拍手と万歳、とても良い笑顔でした。その後、年男と年女の利用者さんは門まで行き、本物の豆を掛け声とともに投げ、邪気を祓いました。



職員お別れ会

4月の異動に伴い、3月28日に職員のお別れ会が行われました。毎年この日の利用者さんは寂しい思いをされます。特に今年は大勢の職員が異動するということで、皆さん、戸惑いを隠せませんでした。利用者の方から職員に大きな花束を渡されると、感謝の涙がはじけ、それだけの職員からお別れの挨拶をしていただく所長をはじめ、写真撮ったり、いつまでも握手をしたり…。名残惜しい時間はあっという間に過ぎていきました。



転出・退職者（皆さん、お世話になり、ありがとうございました。）

・熊谷雅夫所長 愛厚すぎのきの里へ

・大久保敏史生活支援班長 退職

・飯島大樹指導員 愛厚弥富の里へ

・黒田和芳主査指導 退職

・佐治 透技術員 愛厚ホーム佐屋苑へ

・原田この生活支援嘱託員 退職

・藤本しのぶ准看護師 愛厚ホーム岡崎苑へ

・小林千恵生活支援主任 愛厚希全の里へ

・伊藤志津江生活支援員 愛厚ホーム豊川苑へ

・中西 力生活支援員 愛厚すぎのきの里へ



転入・新任職員紹介

・所 長 山岡 亨

・生活支援班長 小野田哲也

愛厚ホーム設楽苑から転勤してまいりました生活支援班長の小野田です。
知的障害者の施設は初めてであり、分からないことばかりで迷惑をお掛けすることがあると思いますが、よろしくお願い致します。

・指導員 住野良彦

指導員の住野といいます。
北設楽郡にあるすぎのきの里から転勤してきました。豊橋から通っています。3年ぶりの藤川での勤務となりますが、また、新たな気持ちで頑張りたいと思います。

・指導員 鈴木斐佳

4月より、新規採用で配属されました鈴木です。
障害者施設に関わることは初めてなので、利用者の皆さんと接しながら色々学び、理解を深めていきたいと思っています。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

・看護師 山本利恵

看護師の山本です。
青い鳥学園↓希全センター↓特養ホームを経て藤川の里勤務です。此方の第一印象は、未開の地がまだあるという期待と興奮でした。利用者の皆様と、日々楽しく過ごせたら幸いです。

・生活支援主任 小川広子

自然に恵まれた環境の中で、利用者さんの笑顔を楽しむ仕事をしています。
これからも「藤川の里」の一員として、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

・生活支援員 大塚浩二

4月に愛厚半田の里より移動してきました。半田の里では2年間、仕事をしてきましたが、まだ経験不足な面ばかりが目立つと思います。日々の精進と共に勉強していきたいと思っています。宜しくお願いします。

・生活支援員 山田卓矢

4月より藤川の里に配属になりました、生活支援員の山田です。
一日も早く利用者の方々と信頼関係を築き、一人ひとりの「その人らしい生活」を支援できるよう、精一杯頑張りたいと思います。

・技術業務嘱託員 本田勝巳

このたび5年ぶりに縁ありましてお世話になることになりました。
私は西尾市寺部町という所から山を2つ越し通勤しております。緑豊かな藤川の里で働けることをうれしく思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

・パート職員 大須賀美喜

10年間勤めた接客業から転職して、今年の3月からお世話になっております。
先輩方と一緒に仕事をさせて頂いている中、反省と勉強の毎日です。これからご指導をよろしくお願い致します。

・パート職員 加納千恵

全くの未経験の職種でしたが、縁あって藤川の里で働かせていただくことになりました。
まだまだ職場の皆さんには迷惑をかけっぱなしで申し訳ありません。早く仕事を覚えて頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

・事務パート 岩月 園

4月より事務パートで入りました、岩月です。事務所内で電話対応、伝票処理等をしております。
職員の皆さんに温かく接してもらい、嬉しく思っています。宜しくお願いします。

家族会総会



4月21日、41家族47名のご家族の方々にご参加いただき、愛厚藤川の里家族会を実施いたしました。報告を行い、その後、昨年度事業報告及び会計決算案、会費収支予算案が新役員から提案され、全会一致で了承の後、総会は滞りなく執り行われました。施設からはマイコプラスマ肺炎罹患者が発生した旨のおしらせ、転入及び新規職員の紹介をさせていただきました。施設生活においてご家族様のご協力はなくてはならないものであり、家族会の存在そのものが藤川の里の施設支援に大変重要な位置付けになっていることを実感いたしました。また、重要なお知らせとして、ご家族様と知恵を出し合うことでより良い方向性が見えてくることをたくさんあります。利用者の皆さんにより豊かな生活を送っていただけるよう、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

医務室日記（ダイアリー）

4月に赴任して間もなく、藤川の里でマイコプラスマ肺炎を含む感染症が蔓延しました。この病気の特徴は進行が緩やかで比較的軽い発熱と咳で、単なる風邪と区別しにくく、感染経路は飛沫・接触感染ですが、感染は小さい集団で発生します。また、今回は居室や食堂のテーブルでの拡がりが見られました。マイコプラスマと判明できた原因がマイコプラス治療と水分補給、居室安静を保つことに、1か月ほどで終息することが出来ました。マイコプラスマ肺炎の免疫は持続するものではない為、またいつでも再感染します。マイコプラスマも耐性を持ち、強力になつてやっつけてくれると思いますが、それを迎え撃つ体力を職員も一緒につけたい。それと良いなあと、思っています。

今後の行事予定

・ 7月2日 七夕
・ 7月27日 夏祭り
・ 8月15日 わくわく外出

・ 9月1日 藤川学区防災訓練
・ 9月12日 わくわく外出



5月16日、わくわく外出で「モリコロパーク」へ行き、最初に大きなメイの家に到着し、大きな釜と小さな釜があるお風呂や、手押しポンプの井戸を見学しました。式井戸には洗濯板や穴の開いたバケツが置いてあり、テレビと同じように再現されており、感動しました。お昼は駐車場近くのカフェで食事をしました。皆さんカレーや唐揚げを楽しみました。時間を過ごすごことが出来

わくわく外出

編集後記
職員も大勢変わり、事務所の雰囲気も一変しました。職員一丸となって利用の方に寄り添う支援を目指していきたいと思えます。行事、生活の様子などをわかりやすくお伝えしていきたいと考えています。宜しくお願い致します。